



保土谷化学

HODOGAYA

# リスクを軽減 作物をまもる 酸素供給剤

ネオカルオキシソ／ネハリエース  
オキシグリーン  
M・O・X／M・O・Xゴールド

HODOGAYA  
CHEMICAL





# 酸素供給剤は どのような効果があるの？

## 酸素供給

### 湿害対策

長雨や  
集中豪雨による  
過湿からの根腐れの  
軽減・回復

### 根張り(根の活性)の 改善・増進

土の締めりや  
水の滞留による  
土壌の  
酸欠状態の改善

### 好気性微生物の 活発化

堆肥の腐食促進、  
未熟堆肥からの  
有毒ガスの発生軽減  
団粒化構造の促進



### ネオカルオキシ、ネハリエース

粒剤

過酸化カルシウムを成分とした粒剤で、土壌中の水分と反応することで持続的(1~3ヶ月)に酸素を発生しながら消石灰となり、最終的には炭酸カルシウムとなります。



ネオカルオキシ



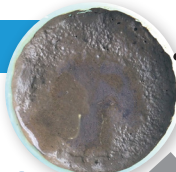
ネハリエース



### M・O・X、M・O・Xゴールド、オキシグリーン

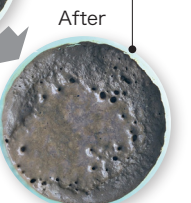
液剤

過酸化水素水を成分とした液剤で、土壌中の金属や有機物に触れて分解し、酸素を短期間に放出して、最終的には水になります。



Before

M・O・X



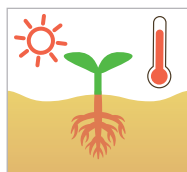
After

酸素発生  
のしくみ

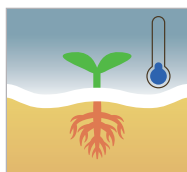
## こんな時にお使いいただけます



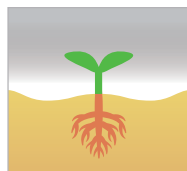
過酷な  
気象条件



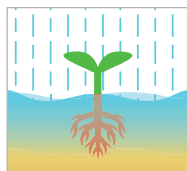
猛暑期



厳寒期



日照不足



長雨



集中豪雨

酸欠  
しやすい  
圃場



降雨後に冠水  
しやすい圃場



土が締めり  
やすい圃場

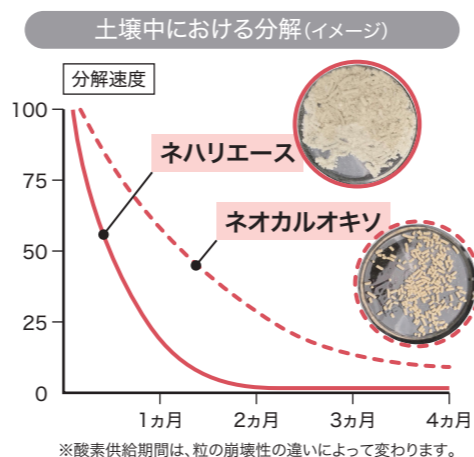
堆肥を  
多量  
投下する  
圃場



未熟堆肥の有毒ガスの  
発生による生理障害

# 特徴および使い方

粒剤	ネオカルオキシ 登録番号:福島県第857号	ネハリエース 土壤改良資材入り指定混合肥料
酸素供給期間	土壤中3ヶ月間	土壤中1ヶ月間
使い方	圃場作りの段階で元肥的に使用	栽培期間の比較的短い作物の元肥的な使用、また、栽培期間中に追肥的に使用



液剤	M・O・X 登録番号:生第83485号	M・O・Xゴールド 登録番号:生第85016号	オキシグリーン 登録番号:生第87969号
酸素供給期間	短期間に集中的に酸素を供給		
使い方	育苗から本圃まで葉面散布や灌水にいつでも使える即効性の液肥	M・O・Xに蒸留木酢液をプラスし、土壌中の有効微生物や根の活性を高めます	M・O・Xに有機酸をプラスし、土壌中のリン酸の肥効を高めます根の活性を高めます ※単剤での使用をおすすめします

●M・O・X、M・O・Xゴールドの混用表(目安)

種類	混用可否※
強アルカリ性農薬	×
銅剤	×
微量元素系の液肥	△ (鉄・マンガンを1%以上含むものは×)
液肥	○

※混合直後から過酸化水素が分解し、施用前にタンク内で酸素が発生し、土中に供給できる酸素量が減少するため。バケツ等、小スケールで混合し、気泡の発生がみられなければ混用可。また、希釈後の液はその日のうちにご使用ください。

# 粒剤・液剤の効果的な使用方法

粒剤

液剤

	果菜類	葉菜類	根茎類	水稻	花卉類	堆肥
粒剤	<p><b>ネオカルオキシ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●定植前に全面散粒し、すきこむ。(40~60kg/10a)</li> </ul> <p><b>ネハリエース</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●通路や灌水チューブの下にスジ状に施用する。(20kg/10a)</li> <li>●圃場の加湿箇所表面に散粒する。(20~30kg/10a)</li> </ul>	<p><b>ネオカルオキシ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●定植(播種)前に全面散粒し、すきこむ。(40~60kg/10a)</li> <li>●畝施用の場合は半量。(20~30kg/10a)</li> <li>●土寄せ時にすじまきする。(20~30kg/10a)</li> </ul> <p><b>ネハリエース</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全面散粒後すきこむ。(40kg/10a)</li> <li>●畝施用の場合は散粒。(20~30kg/10a)</li> <li>●圃場の加湿箇所表面に散粒する。(20~30kg/10a)</li> </ul>	<p><b>ネオカルオキシ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●定植前に全面散粒し、すきこむ。(40~60kg/10a)</li> <li>●畝施用の場合は半量。(20~30kg/10a)</li> </ul> <p><b>ネハリエース</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●畝施用の場合は散布。(20~30kg/10a)</li> <li>●圃場の加湿箇所表面に散粒する。(20~30kg/10a)</li> </ul>	<p><b>ネオカルオキシ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●代かき前の耕起時に土壌に全面散粒し、すきこむ。(10~20kg/10a)</li> </ul> <p><b>ネハリエース</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●出穂20日前に全面散粒する。(10kg/10a)</li> </ul>	<p><b>ネオカルオキシ</b></p> <p>〈ベッド栽培〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●定植前に全面散粒し、すきこむ。(40~60kg/10a)</li> </ul> <p>〈鉢栽培〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ネオカルオキシを混和する。(2~3kg/1㎡)</li> </ul>	<p><b>ネオカルオキシ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●堆肥1㎡に2~3kgを混和あるいは層状に散粒する。(発酵促進、臭気軽減)</li> </ul>
液剤	<p><b>M・O・X、M・O・Xゴールド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●育苗時、100倍液を灌水する。</li> <li>●定植時、100倍液に苗をドブ漬けまたは灌水する。</li> <li>●定植後、灌水する。(100倍以上に希釈して1000ℓ以上/10a) 葉面散布する。(100倍液を200~400ℓ/10a)</li> </ul> <p><b>オキシグリーン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●定植後、灌水する。(300倍以上に希釈し10ℓ/10a) 葉面散布する。(500倍以上に希釈し200~300ℓ/10a)</li> <li>●根痛み・株疲れ時、200倍希釈液を1株あたり1~3ℓ株間に土壌灌注する。</li> </ul>	<p><b>M・O・X、M・O・Xゴールド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●レタス、ハクサイ、キャベツなどは、結球時期に4~5日間隔で4回葉面散布する。(1回につき100倍液を300ℓ/10a)</li> <li>●アスパラガス、ニラなどは刈り取り直後に葉面散布する。(1回につき100倍液を200ℓ/10a)</li> </ul> <p><b>オキシグリーン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●定植後、葉面散布する。(500倍以上に希釈し200~300ℓ/10a)</li> <li>●根痛み・株疲れ時、200倍液を1株あたり1ℓ株間に土壌灌注する。</li> </ul>	<p><b>M・O・X、M・O・Xゴールド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●葉面散布する。(1回につき100倍液を200ℓ/10a)</li> <li>●灌水時100倍以上に希釈し、株元灌水する。 ※ニラ:収穫直後100倍液散布。</li> </ul>	<p><b>M・O・X、M・O・Xゴールド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●タネモミの浸漬時、50倍液に12~24時間浸漬する。</li> <li>●育苗時に100倍液を育苗箱に500cc/箱を2~3回灌水する。</li> <li>●出穂20日前から10日毎に4回流し込む。(1回につき1ℓ/10a)</li> </ul>	<p><b>M・O・X、M・O・Xゴールド</b></p> <p>〈ベッド栽培(100倍液)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●定植直後に散布。</li> <li>●定植後に、1~2ヵ月間は2週間毎に灌水。</li> <li>●開花時、根の弱まった時に灌水。</li> </ul> <p>〈鉢栽培(100倍液)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●各植替後(病葉の摘除後、株及び植栽容器全体)に散布するか、各植替後に毎に灌水する。</li> </ul>	<p><b>その他</b></p> <p><b>ネオカルオキシ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ヘドロなどで汚れた池の臭気対策(ネオカルオキシを50~100g/㎡)</li> </ul>



# CASE 1

## なり疲れ対策

供試作物:イチゴ(とちおとめ)

施用区

M・O・X/10ℓ/10a  
液肥と併用、点滴チューブ使用  
12/10から10日毎施用、計8回

慣行区

液肥のみ、点滴チューブ使用

結果

調査日:4/17(施用56日後)

慣行区



M・O・X施用区



	根重量(g)	総着果数(個/株)
慣行区	17.3	126
施用区	22.4(+5.1)	142(+16)

# CASE 2

## 健全生育 根痛みの軽減

供試作物:ネギ

施用区

ネオカルオキノ/20kg/10a  
土寄せ時にすじまき

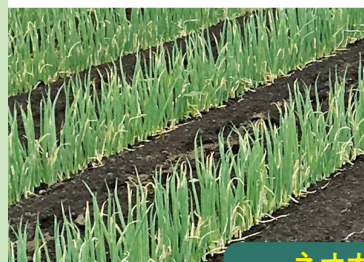
圃場

栃木県

結果

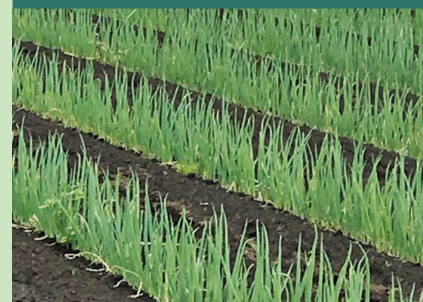
調査日:7/3(施用28日後)

慣行区



葉先枯が減少した

ネオカルオキノ施用区



Introduction of Case

## 使用事例のご紹介

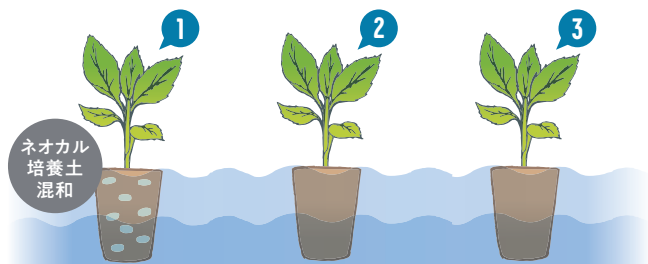
# CASE 3

## 湿害対策

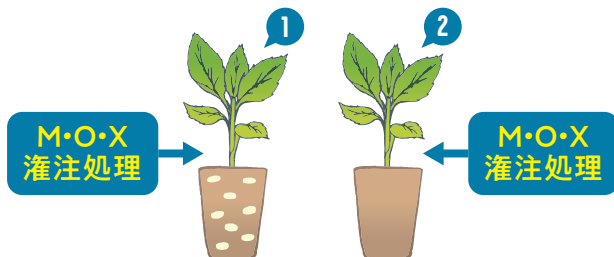
ゲリラ豪雨・長雨による湿害対策

供試作物:キャベツ

定植した苗(ポット)を7日間水没



水上げ後



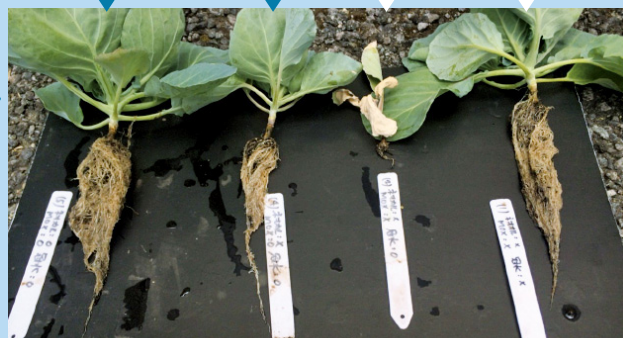
施用区

- ①ネオカルオキノをあらかじめ培養土に混和(3g/ℓ)  
水上げ後にM・O・Xを灌注(50倍液)
- ②水上げ後にM・O・Xを灌注(50倍液)

ネオカルオキノ  
M・O・X処理

M・O・X  
処理

無処理



水没あり

水没なし

※撮影:水上げから14日後

## 粒剤・液剤の物理的性質

	粒 剤	液 剤
形状	1mm粒状	液状
見掛比重	0.8~1.0	1.0
吸湿性	ほとんどありません	—
溶解性	水にわずかに溶解します	簡単に溶けます
pH	11~12(1%水溶液) (実際には土壌の緩衝作用によって pHの影響はほとんどありません)	原液の場合:【M・O・X】4.5 【M・O・Xゴールド】3.5 【オキシグリーン】1.1 (M・O・Xは100倍以上に希釈した場合は中性になります)

## 荷 姿



## 取扱上の注意

- ご使用に際しては、標準使用量あるいは標準希釈濃度をお守り下さい。
- 記載された使用方法以外では、お使いにならないで下さい。
- 保護メガネ、ゴム手袋、防塵マスクなどの保護具を着用して取り扱って下さい。
- 貯蔵中に金属、有機物、水等を混入させないで下さい。
- いったん容器から出したものは、元の容器に戻さないで下さい。
- 直射日光を避け、水にぬれないようにして、風通しが良く高温にならない場所に保管して下さい。
- 農薬、肥料とは混用しないで下さい。(ネオカルオキソ・ネハリエース・オキシグリーン)
- アルカリ性の強い薬剤あるいは、鉄剤との混用は避けて下さい。(M・O・X、M・O・Xゴールド)
- オキシグリーンは強酸性ですので取り扱いにご注意下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。



保土谷化学工業株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号 TEL 03-6852-0386(問合せ専用)

特約店